

創造理数科と科学技術科の併置校へ

都立科学技術高等学校

本校は、進学型専門高校として平成13年に開校し、現在20期生まで卒業生を送り出しております。

その卒業生から、今回、開校以来初の東京大学への合格者を輩出することが出来ました。この生徒は、学校推薦型選抜での合格で、研究活動で全国的な成果を上げ、東京大学への研究室訪問や英語研修に参加するなど、まさに本校の教育プログラムにしっかり沿った上での合格でした。現在の3年生は総合型・学校推薦型で既に10名が国公立大学に合格し、これから一般選抜に挑戦する生徒も多数存在します。着実に進学実績は向上しています。

さらに、科学研究部生物班の「ヒキガエルの色彩パターンを用いた生態研究」は、令和5年度全国総合文化祭自然科学部門において、東京勢初となる文部科学大臣賞を受賞しました。この研究は近隣の猿江恩賜公園を舞台にしたもので、地域の環境保全会議で、都市公園の重要性を生徒が発表する機会もありました。本校のSSH第III期の研究課題「生徒と生徒がお互いのコンピテンシーを生かして高め合う探究力育成カリキュラムの開発KENKYU at TOKYO」に適した活動で、意義深いものと感じています。

そして、令和6年度から科学技術科の一部を改編し創造理数科が誕生します。そのコンセプトは「新しい価値を生み出す人材の育成」です。今まで培ってきた科学技術科の研究活動を礎に、生徒一人一人の特性が響き合い、教育課程は違いますが、部活動や学校行事で協働する機会を創出していく計画です。令和6年1月に文部科学省から発出されたSSH指定校の中間評価では、科学技術高校に対して次のような記載がされました。

「工業系の教育課程からの理数科への改変は、全国的に見ても例がないと思われ、その積極的

な姿勢は評価できる。」（2ページに亘る評価の一部抜粋）

このSSHIII期の中間評価は、6段階評価の上から3番目の評価をいただいております。今までの努力が報われた思いです。今後もワクワクする気持ちを大切に、生徒と共に新たな教育を展開していきますので、科学技術高校をご注目いただければ幸いです。

（校長 久保 剛 記）

《会報第157号掲載3月1日発行》

探究の先へ 輝く未来へ



都立高校で23区初の
創造理数科 開設

令和6年度
※「創造理数科」と「科学技術科」の2つの学科の併置校となります